

の出発は、二〇〇一年一〇  
伴う、「趣味のページ」への  
六年余。〇二年六月の『S  
ーム パート1』に始まつ  
年二月の『パート15』まで  
数は約一〇〇〇本を超えた。  
増え、〇七年一月からは  
ごとの連載「弁護士坂和章  
OW」がスタートした。さ  
も増えたが、〇七年五月八  
る「北京電影学院客員教授」  
、今回の特別講義のきつか  
ながら語り合う中、秋には  
「電影論」をという話で盛り  
に実現できようとは。

「リヤン」（八  
極みの棋譜）  
「侠配達」（九九）

監督として世界的の陳凱歌監督や、田壯壯監督や、ちだ。現在北京大学院、学生数約〇四に主演した一六歳の期待の新星前田知恵。日本にもこんなすごい女性がいるものだと大いに感心、そんな学院で特別講義とは。

### 3. 坂和的中国電影論の源泉は?

私が中国映画にハマッたのは、〇四年六月～七月に大阪九条の映画館「シネ・ヌーヴォ」で開催された「中国映画の全貌」で計三一本を観た時から。これをメインとした計六六本の中国映画をまとめたのが『坂和的中国電影大観』(『シネマーム5』)(〇四年一二月)。他方、『シネマーム5』以降〇七年九月末までの間に観た中国映画は八一本だから、「坂和的中国電影論」の前提となる総本数は計一四七本。この一四七本の知識と感動が私の特別講義の第一の源泉だ。

他方、『坂和的中国電影大観』にある、①坂和的中國旅行体験と中国映画、②坂和的地図からみる中国映画という論文からわかるように、源泉の第二は中國旅行の積み重ね。①香港の旅(九七年六月一三日～一六日)が最初だったが、以降②大連・旅順・瀋陽の旅(〇〇年八月一〇日～一四日)、③西安・敦煌の旅(〇一年八月九日～一四日)、④北京旅行(北京

トップの成績で卒業したのが『北京の恋—四郎探母』(一九九四)に主演した一六歳の期待の新星前田知恵。日本にもこんなすごい女性がいるものだと大いに感心、そんな学院で特別講義とは。

### 3. 坂和的中国電影論の源泉は?

私が中国映画にハマッたのは、〇四年六月～七月に大阪九条の映画館「シネ・ヌーヴォ」で開催された「中国映画の全貌」で計三一本を観た時から。これをメインとした計六六本の中国映画をまとめたのが『坂和的中国電影大観』(『シネマーム5』)(〇四年一二月)。他方、『シネマーム5』以降〇七年九月末までの間に観た中国映画は八一本だから、「坂和的中国電影論」の前提となる総本数は計一四七本。この一四七本の知識と感動が私の特別講義の第一の源泉だ。

他方、『坂和的中国電影大観』にある、①坂和的中國旅行体験と中国映画、②坂和的地図からみる中国映画という論文からわかるように、源泉の第二は中國旅行の積み重ね。①香港の旅(九七年六月一三日～一六日)が最初だったが、以降②大連・旅順・瀋陽の旅(〇〇年八月一〇日～一四日)、③西安・敦煌の旅(〇一年八月九日～一四日)、④北京旅行(北京

13

をどう思うか?」と直球の質問が出されビックリ。しかも、その他の先生を含め約一〇人で二時間近くかけた昼食は和氣あいあいで、私の気力は次第に衰えていくことに。その夜は眠つていても頭の中には講義内容を反復・検討していたようで、朝四半に目覚めて講義内容を整理。これで準備はすべ

ハッカリだ。

日午前中、喫

店でバッタリ  
云つた田壯壮

監督との記念撮

影評論家坂

平平談 中国

映画評論家坂

平平談 中国

映画評論家坂

平平談 中国

映画評論家坂

○人の院生

が。一瞬部屋を間違つたと錯覚したがそうではなく、これは講義を聽こうとする彼らの熱意の表れ。資料の配布やVTRの準備をしている間にも続々と院生が集まり、講義開始一〇分前には既に教室は満席で熱気ムンムン。日本の某法科大学院の講義風景とのえらい違いに驚くとともに、大いに感動した。

## 5. 特別講義の内容は?

(1) 講義内容は多岐にわたつた。ちなみに、この講義録とレジメは、〇八年中に出版予定の『シネマルーム17』(坂和的中国電影大観パートII)に収録予定だからお楽しみに。まず序論は自己紹介と私の映画論。ここではなぜ、映画が面白い? (①人間の本性に迫る、②人生の縮図、③知らないことを体験)、なぜ、映画評論を書く?、私の映画評論のユニーク性(①弁護士の視点、②都市問題の視点、③歴史大好き人間の視点が特徴)を語つた。

(2) そして、本論の第一は「中国電影一〇〇年」。キネマ旬報映画総合研究所の「映画検定 公式テキストブック」によれば、映画の誕生はフランスのリュミエール兄弟によるシネマトグラフの一般公開(一八九五年)だから、今は映画誕生から約一二〇年。そんな中、朝日新聞は「中国電影一〇〇年」上、

(3) 第二は「黄色」、京電影学院の役割  
一ブと呼ばれた第三は、第五世最大のテーマは  
(八七)、「さらば(九四)」と対比し  
した。ちなみに、ある契機となつたの  
の「初恋のきた道  
がまだ観ていなけ  
た。これは私の中  
ので、大いにこわ  
九日は田中角栄と  
交三五周年の日。  
を見せると、皆二  
つとして田中角栄  
かも?

(4) 第三は、第五世最大のテーマは  
(八七)、「さらば(九四)」と対比し  
した。ちなみに、ある契機となつたの  
の「初恋のきた道  
がまだ観ていなけ  
た。これは私の中  
ので、大いにこわ  
九日は田中角栄と  
交三五周年の日。  
を見せると、皆二  
つとして田中角栄  
かも?

(5)

中・下(〇六年六月)

人に気持が伝わら  
かつたのは、盛り  
さすがに大人気だ  
監督は全然知らな  
として紹介した丰  
注目していたこと  
の南にある琉璃廠  
の鼓樓・鐘樓や前  
園周辺の胡同めぐ  
題の視点からの問  
北京オリンピック  
点を、①一九七〇  
野再開発訴訟の体  
山市での再開発を  
〇一〇七年）を  
ネタは第六世代  
〇五）だが、『シ  
家族』（〇二）も  
「これぞ、中国  
衰退していく瀕

（〇三）やチベット力モシカの乱獵に警鐘を鳴らし、  
この映画によつて國家級の自然保護区管理局を設立  
させ、その結果一万頭から三万頭まで回復させた、  
第六世代陸川監督の『ココシリ』（〇四）など、  
中国にもドキュメンタリーの名作は多い。また、  
「しあわせ三部作」と呼ばれた張藝謀監督の『あの  
子を探して』（九九）、『初恋のきた道』『至福のとき』  
（〇二）は、「これぞ、中国映画！」と私たちを感動  
させたが、それと同じティエストの近時の作品が『幸  
せの絆』（〇三）や『雲南の少女 ルオマの初恋』  
（〇二）など、素朴で自然に涙を誘う秀作が少なく  
なつてゐる日本と対比して、注目すべきことを訴え  
た。

## 6. 特別講義の成果と今後の課題は？

今回の特別講義は、まさに「ひょうたんから駒」で  
実現した。つまり、北京電影学院の俊英たちに対しても  
この私が中國電影論の講義をすることになろうとは、  
私自身が夢にも思つていなかつたものだ。しかし、今  
回の講義は私にとって貴重な体験になるとともに大き  
な成果を生んだ。成果の第一は、何よりもこの講義を  
通して中国の映画人たちと触れ合い、心からの交流を

深めたこと。これは大きいいえば、民間レベル  
レベルでの日中友好に大きく寄与したといつて  
第二は、これを機会に私自身の中国映画につ  
いて勉強が進み、深められたこと。こんな「試練  
ければ、ここまで深く突っ込んでいろいろと  
ことはなかつたはずだ。そして第三は、今後  
課題が明確になつたこと。二時間の予定を一  
延長した講義だつたが、終了後も院生たちは  
教室を去らず次々と質問してきたから、まず  
熱意に感激。また『シネマルーム』各巻をブ  
トしたところ、ビックリしたのは中国語に翻  
訳した本はないのかという質問が出たことだ。こ  
つて明確になつたのは、私の今後の課題は日  
よる『坂和的中国電影大観』パートIIの出版だ  
はなく、中国語による出版へのチャレンジだ  
こと。中国一三億の人民に向けて、中国語に  
『坂和的中国電影論』が出版できることになれ  
りやすごいこと。現在その企画を進めている  
然いろいろと困難も多い。さて、そんな私に  
れた課題の実現可能性は……？